

# 広報 いまり

昭和29年8月19日  
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円 昭和54年12月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.310



残りわずかとなった“ゆく年”に想いをはせ  
“くる年”に希望の胸をふくらませ「干支」は静  
かにその時を待っています。  
今年市制25周年を迎え、80年代の“ひらけゆ  
く伊万里”へと力強くはばたこうとしています。

'54

# 12月

(写真は、来年の干支「さる」作りに精を出す陶磁器業)

—平尾窯業団地で—

# 陶磁器の殿堂を建設

## 伝統産業会館4月にオープン

陶磁器の殿堂、伊万里・有田焼伝統産業会館建設の起工式が、11月16日、建設地の大川内町大川内山地内で行われました。

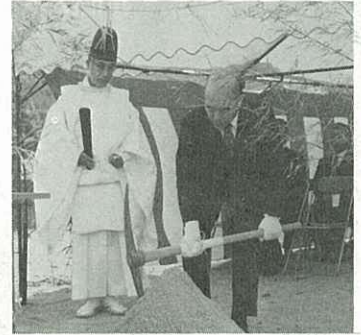
この伝統産業会館は、伊万里有田焼が国の伝統的工艺品産業に指定されたのに伴い、その振興施策として伝統的な技法の継承や後継者の育成などをはかるための施設で、国や県、業界の協力を得て建設するものです。

総事業費は約1億6,000万円

で、国と県がそれぞれ4,200万円を補助して行われるもので、3月末に完成し、4月からオープンする予定です。

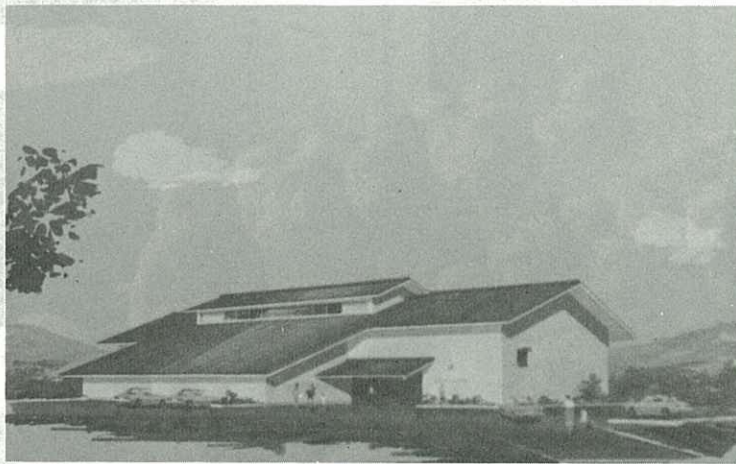
建物は、約2,100㎡のモダンな和風造り、鉄筋コンクリート2階建てで、伊万里・有田焼の展示室や資料室、技術研修室などが配置されています。

伝統産業会館は、九州では伊万里に初めて建設されるだけに関係者はこの陶磁器の殿堂が、



▲起工式でクワ入れする前山収入役

後継者の育成や観光資源のシンボリック施設として重要な役割を担うものと、大きな期待を寄せています。



▲伊万里・有田焼伝統産業会館の完成予想図

## 伊万里小学校の校舎建設着手 来年8月完成めざし

伊万里小学校新校舎建設の起工式が11月21日に行われました。

現在の校舎は老朽化がひどく建直しの必要に迫られたために総事業費5億6,520万円をかけ脇田町へ全面移転するものです。

敷地造成工事の完了に伴い、来年8月完成をめざし校舎建設に着手したものです。

いるように思われた。特に組織における系統のせい管理機能が不十分で前に述べた飛行機の整備不良をはじめ、宿泊施設においても窓やドアをはじめ洗面所、風呂等の不備が目立ち、今後中国が観光に力を入れるとすればこの方面の整備が充実に果されること  
が大事である。  
それにしても少い賃金で中国の人はよく働いている。労働者住宅を見学したが一DKで炊事場と便所・風呂は共同使用、しかも一DKの中にベット・家具・応接セットが置かれている。中国では共同生活が原則なのかも知れない。  
最近では女の人の服装に色彩が見られるようになった。演劇などに至っては一転して服装・化粧は華美で、しかもそのしぐさは極めて派手である。  
小学校を参観すると必ず演劇を見せてくれるが、楽団・コーラス隊・演劇班、果ては司会者まで揃っている。  
訪中団がそれぞれの角度から写真・ハミリなど撮っているのだから出来上った展示会を催す積りで御期待をお願いしたい。  
(竹)

## 久 浦 市 議 会 議 員 ご 逝 去

市議会議員の久浦行夫氏（51歳）は病氣療養中でしたが、去る10月25日に亡くなりました。

久浦氏は、昭和46年4月、市議会議員に当選以来今日まで、豊富な識見と卓越した手腕をもって地方自治の振興と発展に努められました。

また、市体育指導委員（協議会会長）や大川町体育協会長として、地域の社会体育振興に努められるなど、今後ますますの

活躍が期待されていまして、謹んでお悔み申し上げます。



故 久 浦 行 夫 氏

## 最高齢者の草野ツナさん 亡くなる

102歳で市内最高齢者（県内で2番目）の東山代町脇野、草野ツナさんが11月14日、老衰のため亡くなりました。

ツナさんは、化粧まわしをつけて相撲甚句を歌い踊るのが好きなおばあちゃんで、今年の敬老の日にお祝いに向いた竹内市長の手を握り「県内一の長寿者になるまでは元気ですよ。」と笑顔で語っておられました。

家族の方の話では「おばあちゃんは眠るように安らかな大往生でした。」とのこと。

市民の皆さんとともに、ツナさんのごめい福をお祈り申し上げます。

## ベトナム難民が伊万里に入港

### 竹内市長が激励慰問

自由を求め、小型漁船でベトナムを脱出した難民38人が、沈没寸前にパナマの貨物船「パラワン・ファースト号」2410トンに救助され、11月3日伊万里港に入港しました。

竹内市長は5日、久原ふ頭に接岸した同船のベトナム難民を慰問に訪れ、下着類やタオル、クツなどの日用品、菓子、ミルクなどを贈り「元気でがんばってください。」と励ましました。

生後8か月の乳児を抱えたド

ン・チ・チウ・クックさん（20歳）は「栄養不足で母乳が出ずに困っていました。ミルクは金よりも価値があります。」と大喜びでした。

難民38人は同日宮崎県日南市の仮収容施設に向いましたが、一日も早くベトナムに平和がくることを願いたいものです。



▲衣類やミルクのプレゼントに喜ぶ難民

欲にもすじ金が欠けてきての姿もよく見かけ、労働意行き届いておらず、蚊や蠅わかれて、清掃も前回ほどは化が進み、生活や生産における日進月歩の変化が感ぜられるが、反面悪影響も現

都會が感ぜられた。中国では目下四つの近代化が進み、生活や生産における日進月歩の変化が感ぜられるが、反面悪影響も現れ、清掃も前回ほどは行き届いておらず、労働意欲にもすじ金が欠けてきて

南昌から北京まで中国民航のチャーター機で飛んだがプロペラ機のため途中二か所で給油して約六時間かかった。機内に外からの風が洩れていて上昇すると冷たい風が吹きこみ、毛布はなくシートカバーをはずして防ぎ、大変だったが中国側は平気なもので、国柄の違いをつぶさに味わった。



# みんなで楽しい正月を

今年も残すところあとわずかとなりました。

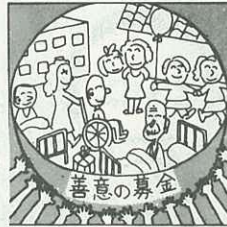
12月は1年の締めくくりの月であり、もっとも忙しく、あわただしい月でもあります。それだけに、ふだんの月より犯罪や交通事故、火災などが増える傾向にあるようです。

私たちの周囲から、犯罪や事故をなくし、みんながそろって新しい年を迎えたいものです。

### 〔歳末たすけあい運動〕

「赤い羽根」の共同募金会とNHKが全国的に展開する「歳末たすけあい運動」が始まります。皆さんから寄せられた善意の募金は老人福祉施設や恵まれ

## 広がる「善意の輪」



ない子供たち、被災地の方などへ贈られます。

### 〔火災の予防〕

ちょっとした油断ですべてが灰になってしまう——火災は空気が乾燥し、火を使う事が多くなるこれからがシーズンです。

火の元や暖房器具の取り扱いには十分注意しましょう。

### 〔飲酒運転の追放〕

酒を飲む機会が多くなる年末年始は「飲酒運転」に要注意。飲酒運転による事故の死亡率は平均の3.2倍にもなっています。「この程度なら大丈夫」——これが一番危いのです。くれぐれもご注意ください。

## 12月の市民会館行事予定

- ・毎週金曜日 9時30分～15時 運転免許証更新時講習会
- ・2日(日) 9時～17時 市連合青年団文化祭
- ・3日(月) 13時30分開演 演劇鑑賞会(伊万里商業)
- ・5日(水) 9時～12時 老人対象演劇(キョハル演芸)
- ・9日(日) 14時開演 ジョイントコンサート
- ・10日(月) 13時～15時 結核健康診断(市環境衛生課)
- ・15日(土) 9時～17時 FMリクエストアワー (NHK佐賀放送局)
- ・16日(日) 10時開演 映画「ガキ大将行進曲」
- ・25日(火) 9時～12時 教育講演会(市教育委員)

## ごみ収集・し尿汲み取り

### 年末・年始休業のお知らせ

年末年始の「ごみ収集」「し尿汲み取り」を次のとおり休みます。

### 〔ごみ収集〕

▲期間 1月1日～1月3日

### 〔し尿汲み取り〕

▲期間 12月31日～1月4日

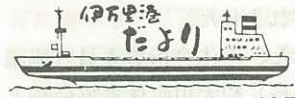
※12月30日(日)は平常業務

その他、焼却場、不燃物処理場は1月1日から3日まで休業。

## 市の人口

(11月1日現在)

総人口	61,165人	(+41)
男	29,007人	(+26)
女	32,158人	(+15)
世帯数	16,307世帯	(-5)
市民課調べ、( )は前月比		



10月

当月は輸入のみで実績は32億1,945万円。

〔船舶の入港〕16隻

日本船4隻、外国船12隻(パナマ9、リベリア3)

〔寄港地上陸許可者数〕347人

フィリピン193、インドネシア79、中国53、韓国17、マレーシア1、イギリス4)

## 青年団交通安全キャンペーン



## 地区別飲酒運転検挙者数

(昭54.10.31現在 伊万里警察署調)

地区	1月～9月	10月	累計
伊万里	4	0	4
大坪	4	1	5
牧島	13	1	14
立花	7	1	8
大川内	1	0	1
黒川	6	0	6
波多津	4	0	4
南波多	8	0	8
大川	4	0	4
松浦	2	1	3
二里	3	2	5
東山代	9	3	12
山代	9	0	9
(市外)	32	2	34
計	106人	11人	117人

## 「交響詩伊万里」のレコードを販売中

伊万里を象徴する音楽「交響詩伊万里」のレコードを販売しています。

このレコードは市制25周年を記念して作られたものです。

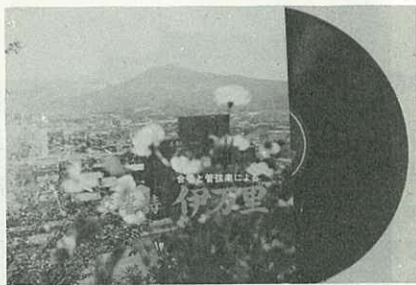
2,000枚の限定盤(LP)製作のため、販売数に制限があり、予約受付で販売を行っています。

ご希望の方は、下記により申し込みください。(電話可)

▲申込先 市役所総務部秘書課  
(☎③ 2111 内線 408)

▲レコード代 1500円  
(現品と引き換え)

※B面は赤とんぼなど4曲



### 社会保険相談を休みます

毎週金曜に行っている「社会保険相談」を12月28日と1月4日は休みます。ご利用の方は前後の相談日をご利用ください。

(市民相談室)

### 外人観光客は雇えません

外国人観光旅行者などが、スナックやバー、レストランなどでホステス、ウエイトレスとして働くことは許されていません。また、これらの外国人を雇った方も調べを受けますのでご注意ください。(福岡入国管理事務所伊万里港出張所)

## 「ねた子を正しく起こす」同和教育

### 同和教育シリーズ No.4

「同和教育問題は、そっとしておけば自然に解決されるもので、なにも知らない人にまで知らせる必要はないと思います。部落差別とか同和教育とかやかましくいうから、かえって差別が生まれてくるのではないのでしょうか」このような意見が、なお一部の人から出てくることも、ありますがこれは一般住民の方の素朴な意見であり古くしてまた新しい同和教育に対する考え方の代表的なものです。

しかし考えてみますと「ねた子を起すな」ということは、現に差別はあるが、時がたつと自然になくなるので、そっとしておいてそのまま残しておきましようということになるのです。

このことは同和教育を他人ごととして自分には関係ないものと考えている人に多いようですが、この問題は決して時がたつとともに解決するような問題ではありません。時がたてば解決するといって明治時代から「ねた子を起さず」そのままそっとしておいたことが、今日まで部落差別を残した原因なのです。

明治の解放令から100年、水平社の結成から50年、基本的人権の尊重を柱とする新憲法の公布から30年になりますが政治も教育も同和教育をさけてなんの措置もしなかったのが結果的にはかえって差別を温存し助長することになりました。

今日の私たちも、子どもの頃は何も知らず被差別部落に対する偏見や差別はなかったと思いますが、長ずるにつれ、親や社会がゆがんだ形であやまった考えを教え伝えてきたのが、現在そのまま私たちの心の中に差別意識として根強く残っているのです。

「ねた子を起す」ということは同和教育を正しく教えるということ。同和教育を正しく理解しておれば、あやまった予断や偏見をはねかえし、差別をしない差別を許さない人間になることができます。

同和教育は、行政の責務としてさらには、国民的課題として対策事業や同和教育を積極的に進めることによってのみ解決されるのです。(社会教育課)

## 生徒を募集

### 伊万里看護高等専修学校

伊万里看護高等専修学校は準看護婦、準看護師の養成を目的とした生徒の募集を次のとおり行います。

▲ 募集人員 35名

▲ 修業年数 2年

▲ 受験資格 中学校卒業以上

▲ 出願書類 本校所定の入学願書と健康診断書

○ 最終学校卒業証明書または卒業見込証明書

○ 内申書(調査書でも可)

○ 受験料3,000円(願書受付後は返済しない)

▲ 願書受付期間

12月15日～1月21日

※詳しくは伊万里看護高等専修学校(☎③ 4635)へ。

## あなたと 考える

# 世界へはばた

市は、日中平和友好条約の締結を記念し友好親善と相互の理解を深めようと、初の訪中団を派遣しました。

この訪中団は、竹内市長を団長に市内各界層の代表28名によって編成したもので、11月8日から22日までの14泊15日、上海から長沙、南昌、景德鎮、北京などの主要都市を訪問しました。

伊万里は中国とは地理的にも近く、今後の対中国との交流に大きな期待を寄せているものです。



▲訪中団一行(天安門広場で)

## 日中貿易の拠点に

昨年8月に日中平和友好条約が結ばれてから、日中両国の関係は経済、教育文化など各方面にわたって活発な交流が行われています。

伊万里は地理的にみると、日本の西の果てにありますが、中国とは最も近接の地にあり、その中心的存在にあります。

今回の訪中団派遣も、このよ

うな発想から計画されたもので交流によって一層の理解と友情の結びつきが、将来における日中貿易の布石となり、その中心拠点となることを願うものです。

現在、名村造船所では中国船を建造しており、訪中を契機に造船技術の交流を含めて、中国からの技術研修生の招へいを申し出ています。

### 訪中団員

氏名	所属
竹内通教	市長(団長)
河村兼雄	市議会(副団長)
松瀬勲	市議会
野口義一	"
江頭橘次	"
前田徳治	南波多農協
橋口政治郎	波多津漁協
大原巖	伊万里地区同盟
副島勉	"
吉田町造	区長会連合会
高瀬謹爾	歯科医師会
一ノ瀬繁夫	商工会議所
岡田政昭	"
田中興人	"
稲垣茂	"
河原勘次	"
黒川隆太	"
金子勝哉	"
古賀政吉	建設業協会
脇山正一	伊万里地区労
山崎貞一	日中友好協会
松本決	"
山口正憲	青年会議所
江口一	小中学校長会
田尻徳磨	教育委員会
富村繁雄	市役所(秘書長)
田中俊輔	市役所
原口正毅	"



▲孫平化中日友好協会副会長を表敬訪問

# く伊万里 訪中団派遣

キャンペーン  
シリーズNo.16



## 景德鎮市と姉妹都市実現に努力

訪中団々長 伊万里市長 竹内 通教

伊万里市訪中団一行28名は気温・風土・食事など条件の違いを克服して、予定の全日程を消化し無事使命を果して帰国した。今回の訪中の目的は、環東中国海をこれからの伊万里湾開発の方向とする伊万里市として中国との交流のキッカケをつかむ

ことにあったが、具体的にはその目標を同じ陶磁器生産における景德鎮市と友好姉妹都市を結ぶ可能性を見出すことと、名村造船所に中国より技術研修生を受け入れることにおいた。

景德鎮市長楊永峯先生はこれまでにない友情を感じたとして姉妹都市実現に向って努力しましょうと力強い挨拶をされ、北京市の中日友好協会孫平化副会長先生は造船技術研修生受け入れに心から感謝する。話し合いのでき次第直ちに3名派遣したいと言われた。

東洋において日本と中国が提携できれば力強い限りで、今回の伊万里市訪中団がその一端を果すことになれば訪中の目的が達せられたことになる。



## 中国人の熱意

訪中団班長 青年会議所理事長 山口 正憲

北京でのホテルは別として、中国各地のホテルで部屋の鍵がないのには驚きました。荷物は部屋に置きっ放しにしても安心なのです。到底ほかの旅行では考えられないことです。盗難に逢うことはないのか、と尋ねますと「貴方がたは我々の大事な友達です。そんなことをする中国人は一人もいません」と胸を張って答えるのです。

工場、人民公社、学校、病院家庭なども訪問しましたが中国人は必ず盛大な拍手と握手攻めで歓迎してくれました。私達もそれに応えるのに手が痛くなったほどです。殊に学校や幼稚園では子ども達が歌や踊りで精一杯歓迎の意を表してくれました。

勿論、日本の歌もあります。このように中国人は大きな誇りと相互理解の精神から、外資(外国人のこと)に誠意を以って大切にしてくれます。冒頭に「北京のホテルは別として」と書きましたが、ここでは他の外資も泊るからとのことで鍵をかけねばなりません。何ともはや変な感じですが。

最後に中国のみなさん、謝々、再見。



楊永峯景德鎮市長と友好の握手

# ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その11～

## 公民館を美しくと手作り花壇

大坪町の青年団と老人クラブ

地域住民の寄りどころ、公民館、の庭に美しい花を咲かせようと、若者とお年寄りが花壇づくりに汗を流しています。

若者たちは大坪町青年団（中島利夫団長＝60人）で、今年3月に完成した大坪公民館を花で飾り、来館される方に和やかな中で利用してもらおうと花壇づくりを始めたものです。

花壇は市内の生コン工場からテストに使用された直径10～15cmのコンクリート柱や、建設業者から排土を譲り受けて、青年の労力奉仕で作られました。

花づくりは同町の老人クラブ（松尾加助会長＝540人）がバトンタッチして行っており、若

者とお年寄りの手によって、春には美しい花が花壇いっぱいに咲きみだれることでしょう。

中島団長さんは「みんなの協力で経費もいりませんでした。花が咲くのが待ちどおしいと語っていました。



▲花壇作りに励む大坪町青年団

## 13年間捜し求め母親がお礼

息子の恩人 東円の久保田さん

13年間にわたって捜し続けていた「わが子の命の恩人。にめぐりあった母親が、感激の涙を浮かべお礼をのべていました。」

この命の恩人は、立花町東円造寺の久保田俊郎さん（38歳＝伊万里信用金庫勤務）で、13年前の霜が真っ白に降りた寒い朝のこと、大

坪町柳井町の横尾さつきさん（52歳）の長男、靖彦さん（22歳＝当時小学3年）が伊万里川に自転車もろとも転落したのを、飛び込み助けあげたものです。

横尾さんは、わが子が元気で成長するのを見るにつけ、名も告げずに去った恩人にお礼が言いたくて、13年間捜していたもので、最近になって久保田さんであることが分りました。

久保田さんは、はるかな記憶を思い出すように「そんなことがあったことを忘れていました。だれでもすることですよ。」と言っておられ、語り合う2人の姿には、ほのぼのとした心温まる情景がかもし出されていました。



▲息子の命の恩人にお礼をいう横尾さん



# 祝伊万里市制施行25周年



## いま伊万里で

### 市制25周年式典盛大に

◀式典では市政功労者、善行者98名の方が表彰されました。(11/3)

▼「交響詩伊万里」発表会(11/3)



公民館文化祭が開かれました。(11/17~11/20)  
市内の8サークルから約200点の力作が集まり、見物人の足も止まりがち。



市連合青年団が街頭募金を寄付(11/6)  
「いまり秋祭り」の期間中に十七万二千一〇〇円の愛の募金が集まりました。



大好評のお座敷列車「伊万里市民号」(11/20)  
機会があったらもう一度乗りたいという人も多く好評でした。



▲山代町久原で西部老人憩の家起工式(11/5)  
老人福祉施設も着々と整ってきました。

## 職業訓練生を募集

### 伊万里総合高等職業訓練校

伊万里総合高等職業訓練校は昭和55年度の養成訓練生と離職者や一般求職者を対象とした能力再開発訓練生を次のとおり募集します。

#### 〔養生訓練生〕

#### ▲ 職種・定員・訓練期間

- 機 械 科……20名（2年）
- 自動車整備科…15名（2年）
- 塗 装 科……10名（2年）

#### ▲ 応募資格

中学卒業の来春卒業予定の方

#### ▲ 応募締切

昭和55年2月12日

〔能力再開発訓練生〕

#### ▲ 職種・定員・訓練期間

- 機械科……10名（1年）
- 塗装科……30名（1年）

#### ▲ 応募資格

離職者、一般求職者

※卒業後の資格、その他詳しいことは伊万里総合高等職業訓練校（☎0155）へお問い合わせください。

## 進学ローンを

### ご存知ですか



国民金融公庫は高校や大学などに進学される際に融資が受けられる「進学ローン」の取り扱いを1月から始めます。

▲ 融資額 50万円以内

▲ 融資期間 高校3年以内  
大学4年以内

※融資条件や、返済方法など詳しいことについては国民金融公庫佐賀支店（☎0952-24-3341）へお問い合わせください。

## ☎でんでんだより☎

12月12日（水）午後2時2局の電話が数分間不通になります。これは交換機を新しいものと取り換える工事のため機械を一時止めるもので、新しい交換機になるとプッシュホンサービスができるようになります。

## 〒ポスト〒

### 年賀状は早目に準備を

年賀状の受け付けが15日から始まります。20日までに投函すれば元旦に配達できるとの事です。ハガキは宛先別に市内、県内、県外と分けて出すと、迅速な処理ができます。

〔消息〕南波多郵便局長に松尾松幸氏、滝川内郵便局長に野中元市氏が就任されました。

## レース鳩の展示会

日本鳩レース協会伊万里クラブはレース用に訓練された鳩と土鳩（神社などにいる野生化した鳩）との違いを知ってもらおうと展示会を開きます。

- 日時 12月9日（日）  
10時～17時
- 場所 市民会館

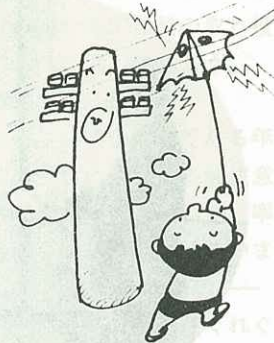
## 踏切事故をなくそう

年末になると師走のあわただしさから、交通事故や踏切事故が発生しがちです。

とくに踏切は一步誤れば大惨事を招く危険な場所でもありますので通過の際は細心の注意を払いましょう。

- 踏切での一時停止を確実に
- 交通渋滞の踏切では前方に車がいるスペースを確認
- 線路を通ったり、線路付近で子供を遊ばせないよう注意

## 電線のそばのたこあげは危険です



## 勤労者美術展の作品募集

佐賀県と県立博物館は来春1月27日から2月1日まで「佐賀県勤労者美術展」を開きますがその出品作品を募集しています。

作品は絵画（日本画、洋画、版画など）、写真、書、工芸の4部門で自作未発表のものを1人1点に限りです。

出品申し込みは1月10日から19日までとなっています。

※出品規定、その他詳しくは伊万里労政事務所（☎3018）へ。

# 保育園の入園手続き

来年度の保育園入園と継続保育希望者の受け付けを、1月5日から1月16日まで行います。

入園資格は、保護者が仕事や病気などのため保育できないと認められる家庭の幼児です。

申請用紙は12月20日から、入

園を希望される保育園で交付します。記入のうえ必要書類を添えて提出してください

(ただし、新設の立花保育園は福祉事務所で受け付けます)

〔提出書類〕

・申請書

- ・住民票謄本（昭和55年1月1日以降に発行のもの）
  - ・源泉徴収票（昭和54年分）  
給与所得者で源泉徴収票がとれない方は勤務証明書
  - ・医師の診断書（保護者が病気か出産の場合）
- ※詳しくは市役所福祉事務所婦人児童係（☎③2111内線258・262）へ。

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

### 社会福祉事業費へ

◆香典返しを寄付

- ・中野幸一（山代町峰 亡妻フサ子）
- ・松尾 清（脇田町脇田 亡父清次郎）
- ・高田 繁（波多津町井野 尾 亡兄三太郎）
- ・畑島三三（松浦町下分 亡夫又三）
- ・前田利雄（立花町西円 亡養母ヒテ）
- ・池田正輝（立花町西円 亡母マサ）
- ・高田政雄（南波多町谷口 亡母ギン）
- ・松尾 光（黒川町福田 亡次男智裕）
- ・原 芳幸（大川内町吉田 亡母セシ）
- ・岩橋勝喜（松浦町久良木 亡父謙次）
- ・牧瀬光勇（木須町木須西 亡母ハツ子）
- ・山口岩男（黒川町畑川内 亡父治作）
- ・山口 實（黒川町畑川内 亡父盛太郎）
- ・津田 忠（波多津町浦 亡祖母ナツ）
- ・山口良樹（松浦町中野原 亡母ソノ）
- ・小野カメヨ（大川町長野 亡夫義好）
- ・藤田玉市（松浦町下分 亡五男鶴雄）
- ・中島新八（大坪町下古賀 亡母サキ）
- ・松尾仁八（松浦町桃川 亡母スエ）

- ・久浦行寿（大川町宿 亡父行夫）
- ・池田久利（木須町木須東 亡母スヤ）
- ・中島数好（松浦町中通 亡父惣一）
- ・江口正光（松浦町中野原 亡父松蔵）
- ・松尾ハルヨ（木須町木須西 亡夫九市）
- ・馬場 繁（松浦町中通 亡妻ひとみ）
- ・井手信吉（大川町山口 亡父政太）
- ・洲上廣太（大川町長野 亡父米市）

ありがとう



ごさいました

- ・五万円 市連合青年団（いまり秋祭りの折の街頭募金を母子家庭の方々に）  
（累計二、四一六、五五三円）
- ◆教育振興資金へ
- ◆香典返しを寄付
- ・原 昭光（東山代町長浜 亡長女亜希子 国見中指定）
- ◆篤志寄付
- ・単車一台 杉山忠義（立花台三丁目 伊万里中指定）
- ・五万円 西田清次（東山代町滝川内 退職記念に 滝野小中学校指定）
- ◆青少年育成資金へ
- ・五万円 市連合青年団（いまり秋祭りの折の街頭募金収益金を）
- ◆体育振興奨励基金へ
- ◆香典返しを寄付
- ・久浦行寿（大川町宿 亡父行夫）
- ◆篤志寄付
- ・老万円 中島絃一（新天町六五四）
- ・老万円 大川内安二（松島町下松島）
- ・老万円 緒方 猛（新天町四七五）
- ・ソフトボール一ダース 朝長正俊（下土井町）
- ◆交通遺児救済資金へ
- ・七万二千四百十円 市連合青年団（いまり秋祭りの折の街頭募金収益金を）
- ◆消防施設整備資金へ
- ・老万円 池田正輝（立花町西円）
- ◆市民病院施設整備資金へ
- ・廣川千代男（脇田町岩立 亡母サヨ）
- ◆大川内公民館建設資金へ

- ◆香典返しを寄付
- ・原 芳幸（大川内町吉田 亡母セシ）
- ・原 正美（大川内町平尾 亡母フヂヨ）
- ◆大坪地区社会教育 振興資金へ
- ◆香典返しを寄付
- ・山口正利（大坪町祇園町 亡父文七）
- ・中山正之（立花町東円 亡父春夫）
- ◆波多津町コミュニティ推進委員会へ
- ◆香典返しを寄付
- ・古館増男（波多津町板木 亡父英造）
- ◆高森繁美（波多津町辻 亡父國雄）
- ◆香典返しを老人クラブへ
- ・津田 忠（波多津町浦 亡祖母ナツ）
- ・高森 昇（波多津町辻 亡父金太郎）
- ◆南波多公民館 施設整備資金へ
- ◆井上四郎（南波多町古川 亡叔父義雄）
- ・前田 功（南波多町笠樵 亡祖父茂市）
- ◆篤志寄付
- ・図書五十冊 斉藤定治（南波多町府招上）
- ◆山代町コミュニティ センターへ
- ◆香典返しを寄付
- ・桜木照彦（山代町楠久 亡二女法子）
- ・中島明一（山代町楠久津 亡弟俊太郎）
- ・古賀政次（山代町城 亡妻ツギノ）

# こどものページ

小松君(伊万里小6年)馬場君(国見中3年)が最優秀賞

さいゆうしゅうしょう

## 子ども話し方大会

第13回伊万里市子ども話し方大会が11月4日、市民会館で行われました。

大会には各地区の代表30人が参加し、自分の体験した事や、社会問題などを堂々と発表して審査の先生方を感じさせました。

審査の結果は次のとおりです。

### 団体の部

第1位 伊万里町子どもクラブ

第2位 二里町子どもクラブ

第3位 大坪町子どもクラブ

### 小学生の部

最優秀賞 小松正則くん

優秀賞 岩永世紀くん

優良賞 田代茂子さん

### 中学生の部

最優秀賞 馬場竜吉くん

優秀賞 斉藤美樹さん

優良賞 渡屋めぐみさん

## 消防ロボット君の

### 名前が決まったヨ

市消防署前で市民の皆さんに防火を呼びかけているロボット君の名前が決まりました。その名は「消ちゃん」。名付け親は杉山義宜君(立花町東円)ら5名で、他にも「消太君」や「ボーカーマン365」「みはり君」など多数の応募がありました。

これから寒くなり火事の多い季節です。火の元には十分気を付けて「消ちゃん」の呼びかけにこたえましょう。

## 小学校の部 最優秀賞

### 読書と私



伊万里小学校六年

小松 正則

しまったのかもしれない。

ぼくと本との出会いは、小学一年生の時でした。母が『ファール昆虫記』という本を買ってきてくれたのが始まりのように思います。読み出しても、初めは「いやだなー、こんなには厚い本読めるかなー」といやな気持ちでした。

しかし、一行一行読むに従って、時のたつのもわれ熱中し、何回も何回も読んだことを覚えています。このファールは、今から百年前、フランスの片田舎に生まれ、貧乏な生活の中から生物の研究に打ちこんだ人です。ぼくはファール昆虫記のえいきょうを受けて、昆虫や動物が好きになり、理科日記にまとも書いています。この夏に、ぼくは弟といっしょに近くの常光寺でクロオオアリの行列に出会いましたので、さっそく観察することにしました。ここで、この観察日記の一部をお話します。

八月二日、木曜、晴 今日天気が良い。今日からアリの食べ物を調べることにした。常光寺で、桜の木付近のアリの行列近くに、イエバエ、ヒメミミズ、フトモンアシナガバチ、また、角さとうをおき、30分後に再び元のいちを調べてみると、皆、ぼくの思ったとおりである。みんなで一生けんめい運んでいた。しかし、角さとうの姿は見えない。大へんさとうが好きで、みんながワッシュヨイ、ワッシュヨイと早くかくして

この他に、心に残るものの中で、「野口英世」や「ジュバイツァー」があります。共に暗黒大陸アフリカの人々に光をもたらした医学者で、深く心に残っています。

読書の楽しみは、登場人物や主人公が時々ぼくに話しかけたり、はげましてくれることでもあります。それらの人々は時にはやさしく、時にはきびしく、しかもあたたかく話しかけ、心を豊かにしてくれます。

これから先も、ぼくは読書をふやし、その中からえたいものを勉強や生活にしっかりと結び付けがらばつていきたいと思っています。

ワッシュヨイと早くかくしてききたいと思っています。